

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)守口市八雲東町2丁目計画	階数	地上15F
建設地	大阪府守口市八雲東町2丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	252 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年3月1日
敷地面積	1,908 m <sup>2</sup>	作成者	長谷工 平山
建築面積	613 m <sup>2</sup>	確認日	2019年3月5日
延床面積	6,507 m <sup>2</sup>	確認者	長谷工 中村



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 71%  
③上記+②以外の 71%  
④上記+ 71%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物の断熱性能更新対策に配慮し、環境に配慮した計画としている。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	<b>Q2 サービス性能</b> 長期的な利用が可能な配管材を使用した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を配置し、良好な住環境の形成に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が一般的な建築物【参照値】と同等。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0158

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)守口市八雲東町2丁目計画新築工事					
		建設地	大阪府守口市八雲東町2丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.1	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.7	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								